

作成日 : 2013 年 3 月 28 日
改訂日 : 2025 年 10 月 8 日

安全データシート

【1. 化学品及び会社情報】

化学品の名称 : ゼオセライト ZR ステインリキッド
会社名 : YAMAKIN株式会社
住所 : 〒543-0015 大阪府大阪市天王寺区真田山町3番7号
電話番号 : 06-6761-4739
FAX番号 : 06-6761-4743

【2. 危険有害性の要約】

GHS分類 :

健康に対する有害性

- ・急性毒性（吸入：粉じん、ミスト） : 区分4
- ・皮膚腐食性／刺激性 : 区分2
- ・眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 : 区分1
- ・発がん性 : 区分2
- ・特定標的臓器毒性（単回ばく露） : 区分1（中枢神経系、血液系）
区分2（呼吸器）
区分3（麻酔作用）
- ・特定標的臓器毒性（反復ばく露） : 区分1（中枢神経系、呼吸器）
区分2（膀胱）

環境に関する有害性

- ・水生環境有害性 短期（急性） : 区分2
- ・水生環境有害性 長期（慢性） : 区分3

ラベル要素

- ・表示 :



- ・注意喚起語 : 危険
- ・危険有害性情報 : 皮膚刺激
重篤な眼の損傷
吸入すると有害
眠気又はめまいのおそれ
発がんのおそれの疑い
中枢神経系、血液系の障害
呼吸器の障害のおそれ
長期にわたる又は反復ばく露による神経系、呼吸器の障害

長期にわたる又は反復ばく露による膀胱の障害のおそれ
水生生物に毒性
長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き

- ・安全対策 : • 使用前に取扱説明書を入手すること。
• すべての安全予防措置を読み、理解するまでは取り扱わないこと。
• 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
• 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
- ・応急措置 : • 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
• ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
• 直ちに医師に連絡すること。
• 皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。
- ・保管 : 直射日光を避け、容器を密閉し換気の良い冷暗所に保管すること。
- ・廃棄 : 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託するか、もしくは地方公共団体の規則に従うこと。

【3. 組成及び成分情報】

組成情報は営業上の秘密に該当するため、含有量を幅記載とする。

単一製品・混合の区別 : 混合物

成分及び含有量 :

| 化学物質名 | 化学式 | 含有率 wt% | CAS No. |
|-------------|---|------------|----------|
| プロピレングリコール | CH ₃ CH(OH)CH ₂ OH | 75-85 | 57-55-6 |
| リン酸トリ-n-ブチル | [CH ₃ (CH ₂) ₃ O] ₃ PO | 15-25 | 126-73-8 |

【4. 応急措置】

- 目に入った場合 : 眼に入った場合、数分間気を付けて洗浄する。もしコンタクトを装着していて、容易に取り外せるなら、取り外す。その後も洗浄を続ける。直ちに医師の手当てを受ける必要がある。
- 皮膚に付着した場合 : すぐに石鹼と大量の水で洗浄すること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移すこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
- 飲み込んだ場合 : 口をすすぐ。意識のない人の口には何も与えないこと。ただちに医師もしくは毒物管理センターに連絡すること。医師の指示がない場合には、無理に吐かせないこと。

【5. 火災時の措置】

消火剤 : 周辺火災に応じて水噴霧、粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素を使用する。

| | |
|-------------|--|
| 使ってはならない消火剤 | : データなし。 |
| 特有の危険有害性 | : 熱分解は刺激性で有毒なガスと蒸気を放出することがある。 |
| 特有の消火方法 | : データなし |
| 消防を行う者の保護 | : 個人用保護具を着用すること。消防士は自給式呼吸器および消火装備を着用する必要がある。 |

【6. 漏出時の措置】

人体に対する注意事項

| | |
|---------------------|--|
| ・保護具及び緊急時措置 | : 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。 作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。 風上から作業して、風下の人を待避させる。 |
| ・環境に対する注意事項 | : 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境に排出しないように注意する。 |
| ・封じ込め及び 浄化の方法／機材 | : 乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。 |
| ・二次災害の防止策 | : 環境規制に従って汚染された物体および場所をよく洗浄する。 |

【7. 取扱い及び保管上の注意】

取扱い

| | |
|------------|--|
| ・技術的対策 | : 火気厳禁。高温物、スパークを避け、強酸化剤との接触を避ける。 |
| ・局所排気／全体換気 | : 局所排気、全体換気を行うこと。 |
| ・接触回避 | : データなし。 |
| ・安全取扱注意事項 | : 静電気放電(有機物の蒸気を引火させうる)を避けるために必要な措置をとる。 個人用保護具を着用すること。 皮膚、眼、衣服との接触を避ける。 |

保管

| | |
|---------|------------------------------------|
| ・技術的対策 | : データなし |
| ・保管条件 | : 直射日光を避け、換気のよいなるべく涼しい場所に密閉して保管する。 |
| ・容器包装材料 | : 破損や漏れの無い密閉可能な容器を使用する。 |

【8. ばく露防止及び保護措置】

| | |
|------|-------------|
| 管理濃度 | : 設定されていない。 |
| 許容濃度 | : |

| 物質名 | 化学式 | 日本産業衛生学会 (2025年版) 許容濃度 | ACGIH (2025年版) 許容濃度 TLV-TWA |
|-----|-----|------------------------------|-----------------------------------|
| | | | |

| | | mg/m ³ | mg/m ³ |
|-------------|---|-------------------|-------------------|
| プロピレングリコール | CH ₃ CH(OH)CH ₂ OH | — | — |
| リン酸トリ-n-ブチル | [CH ₃ (CH ₂) ₃ O] ₃ PO | — | — |

- 設備対策 : 局所排気装置、手洗い・洗顔設備など。
- 保護具
- ・呼吸器の保護具 : 防毒マスクを着用すること。
 - ・手の保護具 : 保護手袋を着用すること。
 - ・眼の保護具 : 保護眼鏡を着用すること。
 - ・皮膚及び身体の保護具 : 保護衣を着用すること。
- 衛生対策 : 産業衛生および安全の基準に基づいて取り扱う。
安衛則の皮膚等障害化学物質等に該当する製品は、厚生労働省のマニュアル等に従い、適切な皮膚障害等防止用保護具をご使用ください。

【9. 物理的及び化学的性質】

物理的状態、形状、色など

- ・物理状態 : 液体
- ・色 : 無色
- ・臭い : 無臭
- ・融点/凝固点 : データなし
- ・沸点又は初留点及び沸点範囲 : データなし
- ・可燃性 : データなし
- ・爆発下限界及び上限界 : データなし
- ・引火点 : データなし
- ・自然発火点 : データなし
- ・分解温度 : データなし
- ・pH : データなし
- ・動粘性率 : データなし
- ・溶解度 : データなし
- ・n-オクタノール/水分配係数 : データなし
- ・蒸気圧 : データなし
- ・密度及び/又は相対密度 : データなし
- ・相対ガス密度 : データなし
- ・粒子特性 : データなし

【10. 安定性及び反応性】

- 安定性・反応性 : データなし
- 危険有害反応の可能性 : 推奨保管条件下で安定
- 避けるべき条件 : 高温と直射日光、熱、炎、火花、静電気、スパーク
- 混触危険物質 : 強酸化剤

危険有害な分解生成物 : 一酸化炭素 (CO), 二酸化炭素(CO₂)

【11. 有害性情報】

| | |
|-----------------|---|
| 急性毒性 | : [区分4] リン酸トリ-n-ブチル |
| 皮膚腐食性/刺激性 | : [区分2] リン酸トリ-n-ブチル |
| 眼に対する重篤な損傷性／刺激性 | : [区分1] リン酸トリ-n-ブチル |
| 呼吸器感作性または皮膚感作性 | : 分類できない |
| 生殖細胞変異原生発がん性 | : 分類できない |
| 生殖毒性 | : 分類できない |
| 特定標的臓器毒性 | |
| 単回ばく露 | : [区分1(中枢神経系、血液系)] プロピレングリコール [区分2(呼吸器)] リン酸トリ-n-ブチル [区分3(麻酔作用)] プロピレングリコール |
| 反復ばく露 | : [区分1(中枢神経系、呼吸器)] プロピレングリコール [区分2(膀胱)] リン酸トリ-n-ブチル |
| 誤えん有害性 | : 分類できない |

【12. 環境影響情報】

| | |
|--------------------|---------------------|
| 生態毒性 | |
| 水生環有害性 短期 (急性) | : [区分2] リン酸トリ-n-ブチル |
| 水生環境有害性 長期 (慢性) | : [区分3] リン酸トリ-n-ブチル |
| 残留性・分解性 | : 分類できない |
| 生体蓄積性 | : 分類できない |
| 土壤中の移動性 | : 分類できない |
| オゾン層への有害性 | : 分類できない |

【13. 廃棄上の注意】

- ・残余廃棄物 : 廃棄においては、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可（収集運搬業許可、処分業許可）を受けた産業廃棄物処理業者に、産業廃棄物管理票（マニフェスト）を交付して廃棄物処理を委託する。
本製品を含む廃液及び洗浄排水を直接河川等に排出したり、そのまま埋め立てたり投棄することは避ける。
- ・汚染容器及び包装 : 内容物を完全に除去した後に処分する。外部に委託する場合は、都道府県知事の認可を受けた専門の産業廃棄物の収集運搬業者及び処理業者に委託処理する。

【14. 輸送上の注意】

国際規制

- ・海上規制 : 国連番号 UN3082
品名 環境有害性物質（液体）、n. o. s (Tributyl phosphate)
国連分類 9
副次危険性
容器等級 III
海洋汚染物質 該当
- ・航空輸送 : 国連番号 UN3082
品名 環境有害性物質（液体）、n. o. s (Tributyl phosphate)
国連分類 9
副次危険性
容器等級 III
海洋汚染物質 該当
- ・国連分類 : 国連番号 UN3082
品名 環境有害性物質（液体）、n. o. s (Tributyl phosphate)
国連分類 9
副次危険性
容器等級 III
海洋汚染物質 該当

国内規制

- ・陸上輸送 : 該当する法律に従う。
- ・海上輸送 : 船舶安全法の規定に従う
- ・航空輸送 : 航空法の規定に従う。
- 安全対策 : 輸送前に容器の破損、腐食、漏れがないことを確認する。
転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

【15. 適用法令】

- 労働安全衛生法 : 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第 57 条）
名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第 57 条の 2）
りん酸トリノルマルーブチル
 - 化学物質管理促進法(PRTR 法) : 第 1 種指定化学物質（法第 2 条第 2 項、施行令第 1 条別表第 1）
りん酸トリノルマルーブチル】
 - 毒物及び劇物取締法 : 該当しない
 - 大気汚染防止法 : 該当しない
 - 船舶安全法 : 有害性物質（危規則第 3 条危険物告示別表第 1）
- 【国連番号】 3082 環境有害物質
(液体)】

| | |
|------|---|
| 航空法 | : 有害性物質(施行規則第194条危険物告示別表第1) 【国連番号】3082 環境有害物質 (液体)】 |
| 港則法 | : 該当しない |
| じん肺法 | : 該当しない |
| 消防法 | : 第4類 第三石油類 危険等級III 水溶性 |

【16. その他の情報】

本製品は歯科用材料です。用途の変更や一般家庭での使用は避けてください。

注意事項は、通常の取扱いを対象としたものであり特別の取扱いをする場合には、用途・用法に適した安全対策を実施してください。取扱説明書は、使用者がいつでも閲覧できるようにし、本製品の使用中止、廃棄するまで大切に保管してください。

また記載内容は、現時点でき手できた資料や情報に基づいて作成しており、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をするものではありません。

【参考文献】

- ・(独) 製品評価技術基盤機構 (NITE) ホームページ
- ・職場の安全サイト ホームページ
- ・日本産業衛生学会 許容濃度の勧告(2025年度)
- ・ACGIH-TLVs and BEIs (2025)

【改訂履歴】

- 01 2017年 12月 19日 初版
02 2025年 10月 8日 2版